

令和3年度子ども議会レポート

### すごいぞ！狛江の子どもたち

「子ども議会」に向けて開催された10月24日のワークショップに参加した子ども議員を、谷田部一之議長が議場と議長室を案内しました。また、谷田部議長から議会の役割、議員の仕事などの説明を受けた子ども議員たちは目を輝かせながら耳を傾けており、活発な意見交換が行われました。

### ようこそ市議会へ

議長：子ども議会に向けて多摩川や、狛江市の財政について勉強していますが、おもしろいですか？

子ども：はい、おもしろいです！

議長：財政の勉強をしましたがわかりましたか？

子ども：はい！

議長：狛江市は人口が増えたので、児童や高齢者を支援する経費の扶助費が多いですね。これは健康であることで抑えることができるので、皆さんも将来、なるべくお医者さんに通わないように、普段から運動をして身体を鍛えてください。

子ども：はい！

議長：今回、多摩川のことを勉強していますが、その多摩川について、どう思いますか？

Yさん：夕焼けがキレイなので、映えスポットとして宣伝したいです！

Kさん：昔はゴミが多くて、対策も講じられキレイになったと聞きましたが、まだ結構ゴミが落ちていると感じるので、清掃活動をもっと活発化した方がいいと思います。

議長：皆さん、狛江は好きですね？

子ども：はい！

議長：ではその狛江のために、皆さんができることって何でしょう？また、どんなまちにしたいですか？

Sさん：地域の人と繋がるために、多くの人とコミュニケーションを取って皆と仲良くなりたいです。

Yさん：挨拶であふれるまちにしたいです。

Nさん：まちをキレイにする活動をしたいです。

Sさん：本当に災害が起きたときに落ち着いて対処できるよう、避難訓練に参加します。

**活躍を楽しみにしています。**

議長：話を聞いて、住みやすく、魅力あるまちにしたいという気持ちが伝わりました。皆さんが将来、狛江の住民で良かった住み続けて良かったと思うようなまちを狛江市議会で作っていきます。皆さんも将来市議会議員となって、狛江市をもっともっとよくするために頑張ってください。

#### 議長のコメント

これまでの子ども議会では、議長役も参加されているお子さんが担っていましたが、今回は私が議長を務めさせていただきました。主権者教育に狛江市議会もこのように協力できたことを嬉しく思います。子ども議員の皆さんからの提案は、多摩川の利活用について目を見張るものばかりでとても誇らしく感じております。議員と言わず、むしろ議長になれるように頑張ってください。楽しみにしています。すごいぞ！狛江の子どもたち！！

<参考>※記事作成にあたり参考にしてください。

#### 子ども議会とは

子どもが一般的な地方行政のしくみや、地域課題を解決していく行政と議会のかかわりを学ぶ「子ども議会」が開催されました。

子どもが身近に感じる地域課題（今回のテーマは多摩川）を、今年度からワークショップを通して検討、解決案を行政に提示し、答弁を求めることによって、身近な問題に主体的に取り組み、意見表明を行える主権者教育の取り組みとなりました。

開催にあたり、谷田部一之議長が参加者と座談会を行い、議会の仕組みや役割、議員の仕事について分かりやすく説明し、狛江市議会としても協力いたしました。

事業担当課：子ども政策課

事業名：地域課題解決型子ども議会事業